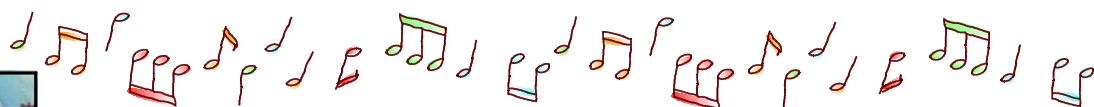


第16回 穴水ウィンドアンサンブル 定期演奏会



- 日時 2016年10月16日(sun)
開場／13:30 開演／14:00
- 場所 のとふれあい文化センター
ラベンダーホール
- 主催 穴水ウィンドアンサンブル
- 後援 穴水町教育委員会
穴水町文化協会
北國新聞社
能越ケーブルネット(株)



ごあいさつ

穴水ウィンドアンサンブル

しみず かずひろ
団 長 清 水 一 洋

本日はご来場頂き誠にありがとうございます。
回数を重ね、今回で第16回目となりました。

今年も肌寒い時期から練習に取りかかり、地道に、着実に今日の日に照準を合わせ積み重ねてきました。

今年もこの日が来たな…と、1年の集大成の場面を迎えることができました。

今回も、各方面から多数の方々が駆けつけてくださいました。今年もパワーアップした演奏をお届けできると思いますので、最後までごゆっくりお楽しみください。

プ ロ グ ラ ム

第1部

1 サンライズ・マーチ

作曲 岩河三郎

この曲は1982年度全日本吹奏楽コンクールの課題曲として全国の吹奏楽部で演奏されました。

題名の「サンライズ」は、吹奏楽コンクールを主催する朝日新聞社の「朝日」にヒントを得たものであることを、作曲者が語っています。トリオを挟んだ三部形式のマーチとなっています。シンバルのソロで曲が開始されるのは、この曲の特徴の一つにもなっています。

2 交響的祝典と舞曲

作曲 ロバート E. フォスター

ロバート・E・フォスターは、音楽教育者、指揮者、審査員、および作曲家、アレンジャーとして幅広い活動をしています。この曲は吹奏楽コンクールの地区大会で何度か演奏はされていますが、もしデモテープ音源を探そうとした場合、入手がとても困難と言われるほどレアな曲だそうです。

3 サンドペーパーバレエ

作曲 L・アンダーソン

ルロイ・アンダーソン (Leroy Anderson) は、マサチューセッツ州ケンブリッジ生まれのアメリカの作曲家です。クラシック音楽と大衆音楽を融合させた「セミ・クラシック音楽」もしくは「ライト・クラシック」に位置する小品を数多く作曲しました。代表曲として、クリスマスソング『そりすべり』、『トランペット吹きの休日』、『タイプライター』などが広く知られています。

さて、この曲のタイトル「サンドペーパー」とは「紙やすり」の意味です。実際に演奏で紙やすりの音を表現しているのが特徴的ですので、そんな所にも注意しながら聴いて下さい。

4 「軽騎兵」序曲

作曲 フランツ・フォン・スッペ

編曲 A・リード

スッペ (1819～95) は19世紀にウィーンで活躍したベルギー系のオペレッタ作曲家で、有名な序曲が多いのですが、この曲は中でも一番有名な曲です。1866年ウィーンで初演されたオペレッタの序曲で、タイトルにどおりのわかりやすい内容の曲で、小学生の音楽鑑賞には欠かせないポピュラーな曲となっています。

第2部

1 セントルイス・ブルース・マーチ

作曲 W.C.ハンディ

編曲 福田洋介

ジャズ&ブルース好きにはおなじみの曲ではないでしょうか。原曲の『St. Louis Blues (セントルイス・ブルース)』は「ブルースの父」として知られるW.C. ハンディの作曲で、グレン・ミラーがマーチ風にアレンジしたものが『St. Louis Blues March (セントルイス・ブルース・マーチ)』として知られるようになりました。

なお、笑点の林家木久扇の持ちネタ『いやんばか〜ん』は、この曲の一部分のフレーズから用いていますので、そんな所にも意識しながらお楽しみください。

2 ミュージカル「キャッツ」メドレー

作曲 A.L.ウェバー

編曲 森田一浩

1981年にロンドンで初演されて以来、ニューヨークや東京を始め世界中で人気を集めたミュージカル。地元ロンドンで、20年以上経った今も上演が続いている魅力は、猫に扮した役者たちの巧みな動きや劇場全体を使った演出に加え、何よりもその音楽にあるといえるでしょう。作曲者のロイド・ウェバーは、ニューヨークのブロードウェイに押されがちだったロンドンのミュージカル界を復活させた立役者で「オペラ座の怪人」「スターライトエクスプレス」などの作品でも知られています。

さて「キャッツ」のストーリーは意外とシンプルで、年に1回の猫の舞踏会（さまざまな猫が自分の魅力をそれぞれアピールし、その年一番輝いていると認められた猫が天に昇れる）の様子を描いており、それぞれに個性的な猫たちが各自歌で自分をアピールしていく筋立てとなっています。

本日お送りする森田一浩の編曲では、多彩な歌の中から、猫たちが舞踏会に集まってくるシーンから始まる「序曲」、狂言回しにあたる「おばさん猫のギャンビーキャット」によるジャズ調のナンバー、そして、その年に天に昇ることになる娼婦猫グリザベラによる「メモリー」の3曲をメドレーとしています。特に「メモリー」は、このミュージカルを代表する曲として人気を博しましたので、お聞き覚えのある方も多いかと思います。雰囲気全く異なった3曲のメドレーをお楽しみください。

3 心の愛

作曲 S.ワンダー

編曲 中川賢二

「心の愛」(原題: I Just Called to Say I Love You) は、スティーヴィー・ワンダーが1984年に発表した楽曲です。ジーン・ワイルダーの監督映画『ウーマン・イン・レッド』のサウンドトラックに使用され、アカデミー歌曲賞とゴールデングローブ賞 主題歌賞を受賞しました。シングルとしても、本国のアメリカでは『ビルボード』誌のBillboard Hot 100、R&Bチャート、アダルト・コンテンポラリー・チャートの3部門で1位を獲得する大ヒットとなり、イギリスでは、スティーヴィーにとって初の全英シングルチャート1位獲得作品となりました。

日本では、子供たちのコーラスをフィーチャーした別バージョンが、スティーヴィー自身も出演したTDKのCMソングに使用され、また、1996年から2001年にかけて、日本のテレビドラマ『君の手がささやいている』の主題歌にも起用されました。

4 さよならの向こう側

作曲 宇崎竜童

編曲 宮川成治

「さよならの向う側」は、1980年8月にリリースされた山口百恵の31枚目のシングルです。

10月15日のホリプロ20周年記念式典を最後に山口百恵は芸能界から引退しました。

三浦友和との結婚式の当日である11月19日には「一恵」がリリースされていますが、この曲が実上のラストソングであり、百恵からファンへのメッセージソングとなっています。

TBS『ザ・ベストテン』には、10位ランク時の9月25日に一度だけスタジオ出演しフルコーラスを歌いましたが、これが百恵にとって同番組最後の登場となりました。

10月5日に日本武道館で行われたファイナル・コンサートでは最後に歌われ、涙を流しながらの歌唱となりました。その後百恵は、マイクをステージに置いたまま舞台裏へと去っていきました。

定演メンバー

フルート	江上由華理 布一 利樹	松本 佐智子	藤田 健一郎	近藤 昌代
クラリネット	沖崎 正人	池田 祐子	森 美幸	角部 琴美
サクソ	長原 麗子	森 久美子	澤野 梓	
トランペット	本田 照美 加茂野恭子	江上 裕介 数馬 孝	平木 和哉	中谷 博之
ホルン	仕幸 勝治	江上 隆	井田 博則	須磨美千代
トロンボーン	片矢 秀和 中田 弘幸	長原 博昭	出水 大幸	源内 豊
ユーフォニウム	酒井 真			
チューバ	岩野 祥之 坂本 直樹	瀬戸 清彦	岡須 拓美	荒川 裕介
パーカッション	谷口 天洋	細木 剛	濱上 知華	徳田 明奈
指揮	清水 一洋			
司会者	山田 弥生			



団員募集

当団では「楽しく真面目に！」をモットーに日々楽しく練習に励んでいます。現在楽器を吹いている方、ブランクのある方、未経験だけど何か楽器を吹いてみたい方も大歓迎です！私達と楽しい時間を過ごしませんか？

興味のある方は気軽に練習を覗きにきて下さいね！

資格：高校生以上の方ならどなたでも！
練習場所：旧穴水町生きがいセンター
連絡先：〒927-0026 鳳珠郡穴水町大町2-43
清水 一洋 ☎0768-52-0563(自宅)

… 私たちのホームページにも、ぜひ遊びに来て下さい …

アドレス <http://pi-taro.sakura.ne.jp/anamizu/>